

科目名	乳児保育2（保育士必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022年度 後期	単位数	1		
担当教員	長谷川 まち子				
内容および計画	<p>「乳児保育Ⅱ」では、「保育所保育指針」等の内容を踏まえて、乳児保育Ⅰの内容を振り返りながら、3歳未満児の発育・発達に合わせたかかわり方、基本的育児技術、3歳未満児に合わせた保育内容や環境検討、さらには、3歳未満児の保育を展開するに当たっての計画、記録、連携・協働について実践的に学ぶ。これらを基に、乳児保育の現状・課題について考察することを目指す。授業の展開方法は、事例や視聴覚教材、人形等を使った実践を通して、子どもの発育・発達の姿や生活および遊びの姿、保育者の関わり方、環境の構成、個人差の配慮、連携等について、学生自身が自ら考え、言語化していくことを目指す。</p>				
1	乳児保育の意義				
2	0～3歳までの発育・発達				
3	食事の援助と環境				
4	排泄の援助と環境				
5	睡眠・休息の援助と環境				
6	着脱に関する援助と環境				
7	清潔に関する援助と環境				
8	乳児保育における健康と安全				
9	乳児（0歳児）の保育内容と遊び				
10	1歳以上3歳未満児の保育内容				
11	1歳以上3歳未満児の遊び				
12	乳児保育における計画と評価				
13	乳児保育を支える連携（職員間の連携）				
14	乳児保育を支える連携（家庭との連携・地域との連携）				
15	本授業でのまとめ				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『演習で学ぶ 乳児保育』	善本真弓 編著	わかば社	9784907270292	2020
2コマ続きの授業になります。グループワークや実践演習を盛り込んだ内容となっていて、できるだけ楽しく、発言を恐れず、自由な発想で考え、言葉にする時間にしたいと思っています。					
参考書	授業の中で、資料を配布する。				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	授業態度				40
	演習レポート（授業内容の理解度を確認するためのリアクションペーパー）				40
	期末レポート				20
学習到達目標					

先修条件	
実務経験	
その他	